

日本教育大学協会が附属学校連絡協議会を開催

日本教育大学協会（会長＝國分充・東京学芸大学長）は、6月1日（土）に全国国立大学附属学校連盟との共催により、附属学校連絡協議会を東京学芸大学において開催し、附属学校園の校園長・副校園長をはじめ、200名を超える関係者が出席した。

開会の挨拶で國分会長は、「近年、様々な課題が複雑化・困難化しているが、今後も皆様との活動を通じて、全国の附属学校が、国や地域の期待に十分応えられるように附属学校本来の役割を全うしていきたい」と述べられた。続いて、鎌田正裕全国国立大学附属学校連盟理事長からは、附属学校の在り方について、今一度現状に目を向けて、私たちになにができるのかを一緒に探していきたいとされた。

その後、小倉基靖文部科学省総合教育政策局教育人材政策課教員養成企画室室長から施策説明があり、中央教育審議会の動向を踏まえながら、国立教員養成大学・学部及び国立大学附属学校に期待されることについて話された。最後には、他の学校にも「やってみよう」と思われるような附属学校の良い取組事例を紹介していきましよう提案された。

【会場の様子】

國分会長



小倉室長



鎌田理事長

